

2009年度

科目名	心理学実験実習Ⅱ				
担当教員	熊野 道子				
配当	教福3			コード	41250
開期	前期	講時	木曜日1限 木曜日2限	単位数	2
授業テーマ	心理学における実験・調査研究の基礎を習得する。				
目的と概要	心理学における実験的研究や調査的研究の技法を学び、実際に参加体験する。まず、基礎領域として、「精神物理学的測定法」、続いて「学習」「行動」「社会」領域の実験実習を通して、データ収集とその解析を実習する。				
成績評価法	出席点および、テーマごとに提出する実習結果の報告書を総合評価する。				
テキスト	必要に応じてプリントを配付する。				
参考書	毎回関連図書を紹介する。				
履修に当たっての注意・助言	本科目は、心理コースに所属する学生のみが受講可能である。希望者が40名を超えた場合、「心理学」「教育心理学」「生涯発達論」「教育と福祉」「統計学」「心理学実験実習Ⅰ」をすでに習得した人を優先とする。				
講義計画					
<p>1. オリエンテーション(報告書のまとめ方、統計処理のためのコンピュータ操作実習を含む)</p> <p>2. 各テーマについて6つに分けたグループごとに実習する。</p> <p>テーマごとに、事前指導において、概論と先行研究を学び、実験・調査方法を学習する。次にグループごとに実習する。あわせて、データ解析の方法(ノンパラメトリック検定、t検定、分散分析など含む)について学び、統計処理を実践する。実験結果については、テーマごとに報告書を各自作成し、提出する。</p> <p>[実習内容]</p> <p>A. 精神物理学的測定法: 重量感覚</p> <p>1. 事前指導: 実験の目的、方法、結果のまとめ方</p> <p>2. 実験</p> <p>B. 学習: 系列学習、概念学習</p> <p>1. 事前指導: 実験の目的、方法、結果のまとめ方</p> <p>2. 実験: 系列学習</p> <p>3. 実験: 概念学習</p> <p>4. 発展: 子どもの学習とその支援について</p> <p>C. 行動観察: 子どもの行動観察</p> <p>1. 事前指導: 観察法の目的、方法、留意点、結果のまとめ方</p> <p>2. 観察: 子どもの行動観察(VTR)を観察し、行動描写の練習を体験します。</p> <p>3. 観察: 子どもの行動観察(VTR)を観察し、カテゴリー化の練習を体験します。</p> <p>4. 観察: 子どもの行動観察(VTR)を観察し、チェックリスト法の練習を体験します。</p> <p>D. 情意・行動: 認知的葛藤</p> <p>1. 事前指導: 実験の目的、方法、結果のまとめ方</p> <p>2. 実験: スループ効果</p> <p>E. 尺度構成法: SD法によるイメージの測定</p> <p>1. 事前指導: 概念、尺度の選定、記入用紙の作成</p> <p>2. 調査: データの収集</p> <p>3. データ処理: 因子分析、プロフィールの作成</p> <p>4. 結果整理</p>					